

〈参考3〉質問票および単純集計結果

ご記入にあたってのお願い

- 1) ご記入は世帯主の方をお願いします。配偶者の方をはじめ、ご家族の皆様ともご相談のうえご記入ください。
- 2) ご記入に際しては、保険証券でご確認ください。
- 3) 黒のエンピツかボールペンでご記入ください。
- 4) 最初の質問から1問ずつ、全部の質問にお答えください。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、太枠（…の方におうかがいします）や矢印（○ページへおすすみください）などの指示に従ってお答えください。
- 5) お答えは、あてはまる回答の番号を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。

＊マスに数字を記入していただく場合の記入例

〔例えば、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金が「世帯主の方——2,500万円、配偶者の方——0円、ご長男の方——1,000万円、ご長女の方——500万円」であった場合〕

問. 病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。

被 保 険 者	死 亡 保 険 金 額				
	億	千万	百万	十万	万
世 帯 主 の 方 →		2	5	0	0
配 偶 者 の 方 →					0
その他のご家族の合計 →		1	5	0	0

（該当項目が0円の場合でも、空欄にせず、必ず「0」とご記入ください。）

- 6) 質問文の最後に（○はひとつ）とあるものは、お答えを1つにしぼってください。（○はいくつでも）とあるものは2つ以上に○がついてもけっこうです。
- 7) 質問が多く、記入時間も長くなると思いますが、なにとぞ全部の質問にご回答ください。

この調査票は____月____日頃調査員がいただきにあがりますので、それまでにご記入ください。

平成 30 年 4 月

（企画）公益財団法人 生命保険文化センター
（実施）一般社団法人 新 情 報 セ ン タ ー

全員の方におうかがいします。

問1 「家族構成」

1-1 現在、お宅に同居し生計を共にしているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。

N : 3983

人
3.0人

1-2 それらのご家族は、どなたとどなたですか。世帯主の方からみた続柄をお知らせください。
(○はいくつでも)

(注) 高専・各種学校(予備校を含む)に行っているお子さんの場合は、「3 未婚で就学前・就学中の子ども」に○をおつけください。

N : 3983

1 わたし (世帯主)	2 配偶者	3 未婚で就学前・ 就学中の子ども	4 未婚で就学を 終えた子ども	5 既婚の子ども ・子どもの 配偶者	6 親	7 孫	8 その他 〔具体的に:〕
100.0%	90.5%	27.4%	25.7%	4.2%	10.7%	2.9%	2.1%

付問1 何人いらっしゃいますか。

N : 1090

人
1.7人

付問3 何人いらっしゃいますか。

N : 1025

人
1.3人

問2へおすすみください

付問2 未婚で就学前・就学中のお子さんは、次のどれにあたりますか。それぞれの人数をお答えください。

(注) 高専、各種学校(予備校を含む)へ行っているお子さんの場合は、年齢に応じて「高校生」もしくは「専門学校、短大生、大学生、大学院生」にお答えください。

N : 1090

	公立	私立
保育所、保育園、幼稚園に通っていない(乳幼児)	人 1.1人	人 1.1人
保育所、保育園に通っている(乳幼児)	人 1.2人	人 1.2人
幼稚園に通っている(乳幼児)	人 1.1人	人 1.1人
小学生	人 1.3人	人 1.3人
中学生	人 1.1人	人 1.0人
高校生	人 1.1人	人 1.0人
専門学校、短大生、大学生、大学院生	人 1.1人	人 1.1人
その他〔具体的に:〕	人 1.1人	人 1.1人

全員の方におうかがいします。

問2 「生命保険の加入状況」

今、お答えいただいたご家族の方が被保険者（保険がかけられている方）として加入されている生命保険について、これからお尋ねします。

2-1 お宅で加入されている生命保険は次の中のどれとどれですか。

（注1）生命保険の加入の有無、加入件数をお答えいただく場合は、主たる被保険者として加入されているものだけをお答えください。

（注2）本人が掛金を負担している民間の生命保険会社の団体定期保険（グループ保険）、J A（農協）の団体定期生命共済、全労済の団体生命共済なども含めてお答えください。

（注3）火災保険（共済）や自動車保険（共済）等の損害保険（損害共済）、並びに財形年金（積立）保険、財形住宅貯蓄積立保険、財形貯蓄積立保険などは除いてお考えください。

（注4）かんぽ生命は、平成19年10月簡易保険が民営化され誕生しました。かんぽ生命の保険は引き続き郵便局並びにかんぽ生命で販売されています。

（注5）「生協や全労済の生命共済」には、以下の商品があります。

①全国生活協同組合連合会が取り扱う「県民共済」（地域によっては「都民共済」「府民共済」「道民共済」「全国共済」と名称されています）

②日本コープ共済生活協同組合連合会（＝コープ共済連）[旧 日本生活協同組合連合会] が取り扱う「CO・OP共済」

③全労済が取り扱う「こくみん共済」「ねんきん共済」「団体生命共済」等

〔加入されている生命保険の種類を次の1～6のうちからお答えください。（○はいくつでも）〕

N：3983

1	75.3%	2	16.6%	3	11.5%	4	9.8%	5	28.4%	6	11.3%
民間の生命保険会社の生命保険（個人年金保険を含む）		平成19年10月1日以降に加入した、かんぽ生命の生命保険（個人年金保険を含む）		郵便局の簡易保険（年金保険を含む）*平成19年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除く		J A（農協）の生命共済（年金共済を含む）		生協や全労済の生命共済（年金共済を含む）		1～5のどれにも加入していない	

加入されている方はどなたですか。（○はいくつでも）
加入されている場合は加入件数と未婚のお子さんの加入人数をご記入ください。

2-3へ
おすす
みく
ださい

	付問1	付問2	付問3	付問4	付問5
	民間の生命保険	かんぽ生命	簡易保険	J A（農協）の生命共済	生協や全労済の生命共済
同居家族	加入の有無 ○はいくつでも	加入の有無 ○はいくつでも	加入の有無 ○はいくつでも	加入の有無 ○はいくつでも	加入の有無 ○はいくつでも
	加入件数	加入件数	加入件数	加入件数	加入件数
	加入人数	加入人数	加入人数	加入人数	加入人数
N：3983 わたし（世帯主）	1 72.1%	1 8.0%	1 6.7%	1 6.5%	1 18.8%
N：3603 （妻 N：3535） 配偶者	2 56.1% (56.0%)	2 10.7% (10.8%)	2 6.9% (7.0%)	2 5.9% (6.0%)	2 20.5% (20.8%)
N：1090 未婚で就学 前・就学中 の子ども	3 26.6%	3 7.8%	3 4.5%	3 3.6%	3 23.4%
N：1025 未婚で就学を終えた子ども	4 40.5%	4 11.3%	4 4.0%	4 8.0%	4 18.0%
N：660 その他のご家族	5 26.8%	5 6.1%	5 5.6%	5 6.4%	5 6.1%

(注) 主たる被保険者として加入されている方だけをお答えください。

人
1.7人

2-3 お宅では現在、民間の生命保険会社、かんぽ生命、郵便局、J A（農協）、生協、全労済の生命保険（個人年金保険を含む）に加入されていないのは、どういった理由からですか。
(○はいくつでも)

1 経済的余裕がないので	35.8%	8 期間が長すぎるので	2.7%
2 現時点では生命保険の必要性をあまり感じていないので	25.6%	9 インフレに弱いから	2.0%
3 将来への不安があまりないので	4.7%	10 生命保険や営業職員が嫌いなので	2.9%
4 健康上の理由や年齢制限のため加入できないので	20.2%	11 生命保険についてよくわからないので	5.1%
5 ほかの貯蓄方法のほうが有利だと思うので	11.3%	12 その他（具体的に： ）	5.3%
6 厚生年金など国の社会保障を期待しているの	5.1%	13 特に理由はない	14.7%
7 退職金や企業年金など会社の保障を期待しているの	2.2%		

不明 6.4%

民間の生命保険会社の生命保険（個人年金保険を含む）に加入されているお宅におうかがいします。
平成19年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除いてお答えください。
（財形年金（積立）保険、財形住宅貯蓄積立保険、財形貯蓄積立保険は除いてお答えください。）
どなたも加入されていないお宅の場合は、問4へおすすみください。

家族特約をつけるなどして配偶者の方やお子さんもしっかりに保障されている生命保険の場合は、それも含めてお答えください。

(注) 本人が掛金を負担している団体定期保険（グループ保険）を含めてお答えください。

現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。

(注) 死亡保険金を年金で受け取る契約や特約に加入されている場合には、総受け取り金額（年金年額×受取年数）をお答えください。なおこの場合、老後等に支払われる通常の年金は含まれません。

被 保 険 者		死 亡 保 険 金 額					
		億	千万	百万	十万	万	
N : 2881	世 帯 主 の 方 →						万円 1375 万円
N : 2227 (妻 N : 2183)	配 偶 者 の 方 →						万円 710 万円 (妻 700 万円)
N : 1003	<u>そ の 他</u> の ご 家 族 の 合 計 →						万円 954 万円

(注) ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院給付金は除いてお答えください。

被 保 険 者		疾 病 入 院 給 付 金 の 日 額						
		十 万	万	千	百			
N : 2872	世 帯 主 の 方 →		万		千		百円	8.9 千円
N : 2264 (妻 N : 2219)	配 偶 者 の 方 →		万		千		百円	7.3 千円 (妻 7.2 千円)

3-3 お宅では、以下にあげられるような保障機能を持つ民間の生命保険会社の生命保険や特約に加入されていますか。被保険者（保険がかけられている方）ごとに加入の有無をお答えください。（○はそれぞれいくつでも）

（注）取り扱う生命保険会社によって、保険や特約の名称や、対象となる疾病、損傷、治療、症状が若干異なります。

	世帯主の方	配偶者の方	その他のご家族	加入していない	
「医療保険」「医療特約」 病気やケガで入院したり、所定の手術を受けたときに、給付金が受け取れるもの。	1 82.5%	2 68.2%	3 22.0%	4 5.3%	不明 6.2%
「ガン保険」「ガン特約」 ガンで入院したときに入院給付金が受け取れるもの。ガン以外の疾病（脳血管疾患、心疾患、高血圧性疾患、糖尿病）で入院したときでも入院給付金が受け取れる「生活習慣病（成人病）特約」は除いてお答えください。	1 55.3%	2 43.5%	3 9.7%	4 18.9%	不明 18.3%
「特定疾病保障保険」「特定疾病保障特約」 ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の3大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れるもの。保険期間が一定期間の定期型と、一生涯の終身型があります。	1 34.2%	2 23.8%	3 6.6%	4 28.0%	不明 32.5%
「特定損傷特約」 不慮の事故により骨折、関節脱臼、腱の断裂の治療をしたとき、給付金が受け取れるもの。	1 19.1%	2 13.5%	3 6.6%	4 34.8%	不明 42.4%
「疾病障害特約」「重度慢性疾患保障特約」 心臓ペースメーカー、人工透析、人工肛門などの所定の治療を受けた場合、または高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変などの特定の慢性病により特定の症状となったと判断された場合、一時金が受け取れるもの。	1 10.5%	2 7.2%	3 2.7%	4 40.0%	不明 47.6%
「介護保険」「介護特約」 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに、一時金や年金が受け取れるもの。	1 10.5%	2 7.8%	3 2.8%	4 39.9%	不明 46.1%
「通院特約」 疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院後所定の期間内にその治療を目的として通院したときに、通院日数分の給付金が受け取れるもの。特定の疾病を対象に支払われるものも含めてお答えください。	1 29.6%	2 23.1%	3 10.2%	4 29.2%	不明 35.9%
「生活障害・就業不能保障保険」「生活障害・就業不能保障特約」 病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。	1 10.1%	2 4.5%	3 2.0%	4 40.1%	不明 47.9%

▶（「ガン保険」「ガン特約」の「1」か「2」に回答された方におうかがいします。）

付問1 ガンで入院された場合にお受け取りになれる「ガン保険やガン特約」による入院給付金は、1日につき、いくらになりますか。診断時の一時金やガン以外の疾病により支払われる入院給付金は除いてお答えください。

	被保険者	ガン入院給付金の日額	
N : 1661	世帯主の方	十萬 万 千 百 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	11.8 千円
N : 1306	配偶者の方	十萬 万 千 百 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	10.1 千円

▶（「介護保険」「介護特約」の「1」か「2」に回答された方におうかがいします。）

付問2 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続した場合にお受け取りになれる「介護保険や介護特約」による給付金は、ひと月あたり、いくらになりますか。診断時の一時金や介護以外により支払われる給付金は除いてお答えください。

	被保険者	介護給付金の月額	
N : 315	世帯主の方	十萬 万 千 百 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	8.6 万円
N : 235	配偶者の方	十萬 万 千 百 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	6.1 万円

3-4 1年間に払い込まれる民間の生命保険会社の生命保険の掛金（保険料）は、お宅全部でいく
らになりますか。

(注)「一時払契約」「頭金制度」および「払込が完了している契約」の掛金は含めないでください。
また、配当金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N : 3001

(世帯の年間払込掛金総額)

億	千万	百万	十万	万	千
*					

 万

--

 千円
33.7 万円

3-5 お宅で加入されている民間の生命保険会社の数は何社ですか。

N : 3001

(保険会社数)

--	--

 社
2.1 社

3-6 お宅で加入されている民間の生命保険会社の生命保険で、一番最近加入されたのはいつでし
たか。下取り制度（転換制度）を利用して、新しい生命保険に加入されたものも含めてお考
えください。(○はひとつ)

(注) 下取り制度（転換制度）とは、既に入社されていた生命保険をもとにして保険種類、保険金額などを
新しい内容の生命保険に変更する制度です。

N : 3001

1	2	3	4	5	6	7	8	
平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年以前	忘れた	不明
5.2%	10.0%	8.3%	6.6%	4.8%	5.1%	40.9%	13.2%	6.0%
							問4へおすすみください	

3-7 その契約は新しく加入されたものですか。または下取り制度（転換制度）を利用して加入
されたものですか。(○はひとつ)

N : 1200

1 新規に加入	61.8%
2 下取り制度（転換制度）を利用して加入	23.3%
3 これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入	13.8%
不明	1.2%

3-8 その生命保険契約の被保険者（保険がかけられている方）はどなたですか。主たる被保険者
1人をお答えください。(○はひとつ)

N : 1200

1 わたし(世帯主)	61.7%	5 既婚の子ども・子どもの配偶者	1.1%
2 配偶者	23.5%	6 親	0.3%
3 未婚で就学前・就学中の子ども	5.1%	7 孫	0.3%
4 未婚で就学を終えた子ども	6.9%	8 その他(具体的に：)	0.3%
不明 0.8%			

3-9 その生命保険の加入を最終的に決められたのはどなたですか。(○はひとつ)

N : 1200

1 わたし(世帯主)	55.1%	2 配偶者	31.0%	3 夫婦や家族で相談	8.5%	4 子ども	4.8%	5 その他(具体的に：)	0.2%
不明 0.4%									

3-10 その生命保険の掛金（保険料）を支払っている人はどなたですか。(○はひとつ)

N : 1200

1 わたし(世帯主)	75.8%	2 配偶者	16.3%	3 子ども	5.8%	4 その他(具体的に：)	1.6%
不明 0.5%							

3-11 その生命保険の掛金の払込方法は、加入時に掛金を全額支払う「一時払」でしたか、掛金を月・半年・年ごとに支払う方法ですか、それとも「月・半年・年ごとの支払いは完了」していますか。(○はひとつ)

N : 1200

1 一時払にした 11.2%	2 月・半年・年ごとに支払っている 79.6%	3 月・半年・年ごとの支払いは完了した 3.7%	不明 5.6%
-----------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	------------

付問1 1年間に払い込む掛金は全部でいくらになりますか。

N : 955 千万 百万 十万 万 千

万

千円

20.4 万円

付問2 一時払をした掛金はいくらでしたか。

N : 134 億 千万 百万 十万 万

万円

514.3 万円

3-12 その保険はどのような種類の保険ですか。1～14のいずれかの番号に○をつけてください。(○はひとつ)

(注) 保険種類の名称は、保険証券やパンフレットなどに記載されています。

N : 1200

生命保険	1	終身保険 (一時払終身保険を含む)	35.3%	死亡した場合の保障が、一定の額で一生続くもの(満期保険金はない)
	2	定期保険	9.2%	保険期間が一定で、その間に死亡した場合のみ死亡保険金が受け取れるもの(保険料は掛け捨てで満期保険金はない)
	3	定期付終身保険	5.0%	死亡した場合の保障が一生続き、一定年齢まではより多額の保障を受けられるもの(定期保険と終身保険を組み合わせた保険)
	4	利率変動型積立終身保険(アカウント型)	2.1%	保険料払込期間中に積立金を蓄積し、払込満了時に積立金をもとに終身保険に移行するもの(保険料は積立部分と保障部分に区分され、その内訳は自由に設定・変更できる。予定利率は一定期間ごとに見直される)
	5	養老保険 (定期付養老保険、一時払養老保険を含む)	4.6%	保険期間は一定で、その間に死亡したときには死亡保険金が、満期時に生存していたときには満期保険金が受け取れるもの(死亡保険金と満期保険金は同額)
	6	医療保険	23.3%	病気やケガで入院したり、所定の手術を受けたときに、給付金が受け取れるもの(一定の保険期間を定めた定期タイプと一生保障の終身タイプがある)
	7	ガン保険	7.3%	ガンにより入院したり、所定の手術をしたときに、給付金が受け取れるもの(一定の保険期間を定めた定期タイプと一生保障の終身タイプがある)
	8	介護保険	0.8%	寝たきりや認知症によって介護が必要な状態になり、その状態が一定の期間継続したときに、一時金や年金が受け取れるもの
	9	こども保険	2.3%	子どもの入学や進学に合わせて祝金や満期保険金が受け取れるもの
	10	変額保険	1.1%	株式や債券を中心に資産を運用し、その運用実績によって保険金や解約返戻金が増減するもので、投資リスクは契約者が負う(保険期間が一定の有期型と一生保障が継続する終身型がある)
	11	生活障害・就業不能保障保険	1.5%	病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。
	12	その他	2.0%	1～11以外の生命保険
個人年金保険	13	個人年金保険(定額)	3.7%	老後の年金の受け取りを目的とし、契約時に定めた一定の年齢から受け取れるもの(給付期間は一定の期間を定めたタイプと終身タイプがある)
	14	変額個人年金保険	0.6%	株式や債券を中心に資産を運用し、その運用の実績によって年金や解約返戻金などが増減する個人年金保険。投資リスクは契約者が負う(給付期間は一定の期間を定めたタイプと終身タイプがある)

不明 1.3%

3-13 その生命保険の加入を検討するにあたって、どのようなところから情報を得ましたか。(○はいくつでも)

N : 1200

1 生命保険会社の営業職員 (かんぽ生命を除く)	46.5%	10 ファイナンシャル・プランナー (FP) や 税理士・公認会計士	6.4%
2 生命保険会社の窓口	2.7%	11 生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	2.1%
3 郵便局の窓口や営業職員	5.6%	12 テレビ・新聞・雑誌・書籍など	5.6%
4 銀行・証券会社の窓口や営業職員	5.6%	13 決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料	0.1%
5 保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	9.1%	14 商品カタログ・パンフレット	8.4%
6 保険代理店(金融機関を除く 保険ショップ等)の窓口	7.3%	15 ダイレクトメール(郵便など)	1.8%
7 家族・親類	9.9%	16 その会社や代理店のホームページ	2.3%
8 友人・知人	10.3%	17 生命保険の比較サイトなど生命保険に関する情報 を提供しているホームページ	4.1%
9 職場の同僚・上司	2.7%	18 その他(具体的に:)	2.4%
		不明	0.6%

3-14 その生命保険の加入を検討するにあたって、他の生命保険会社の商品や他の金融商品と比較しましたか。(○はいくつでも)

N : 1200

1 他の民間の生命保険会社の生命保険 (かんぽ生命を除く)	26.9%	4 生協や全労済の生命共済	3.9%
2 かんぽ生命	3.8%	5 生命保険以外の金融商品 (損害保険や預貯金、公社債、株式等)	0.8%
3 J A (農協) の生命共済	1.5%	6 特に比較はしなかった	66.7%
		不明	1.2%

3-15 その生命保険に加入された主な理由はどういうことですか。(○はいくつでも)

N : 1200

1	希望にあった生命保険だったので	39.3%
2	従来なかったような新しい生命保険だったので	6.3%
3	掛金が安かったので	21.3%
4	民間の生命保険会社の生命保険、個人年金保険は利回りがいいから	4.2%
5	加入後のサービスがよいと思ったので	2.8%
6	営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので	24.8%
7	営業職員や代理店の人が知り合いだったので	14.2%
8	以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので	14.6%
9	営業職員がF P の資格を持つなど、専門性を有していたので	3.7%
10	通信販売やインターネットなどにより、手続きが簡単にできたので	1.1%
11	テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので	3.6%
12	以前加入したことのある会社だったので	8.6%
13	健全な経営をしている会社だったので	5.5%
14	家族、友人、知人などにすすめられたので	10.8%
15	その他（具体的に：	） 5.0%
		不明 0.8%

3-16 その生命保険は、主としてどういう目的で加入されましたか。(○はいくつでも)

N : 1200

1 万一のときの家族の生活保障のため	49.5%	8 子どもの教育、結婚資金のため	7.4%
2 万一のときの葬式代のため	15.4%	9 相続および相続税の支払を考えると	2.8%
3 医療費や入院費のため	57.1%	10 財産づくりのため	2.4%
4 万一のときのローンや債務の返済のため	2.1%	11 土地、家屋の取得、増改築のため	0.1%
5 災害、交通事故などにそなえて	8.3%	12 貯蓄のため	8.6%
6 老後の生活資金のため	10.8%	13 税金が安くなるので	1.7%
7 介護費用のため	3.8%	14 その他(具体的に:)	1.3%
		不明	0.4%

3-17 その生命保険は、どのような方法で加入（契約を締結）されましたか。（○はひとつ）

N：1200

1 家庭に来る生命保険会社の営業職員	43.2%
2 職場に来る生命保険会社の営業職員	10.5%
3 通信販売（インターネットを通じて）	3.3%
4 通信販売（テレビ・新聞・雑誌などを通じて）	3.3%
5 生命保険会社の窓口	2.9%
6 郵便局の窓口や営業職員	4.2%
7 都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	2.7%
8 地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	1.8%
9 信託銀行の窓口や銀行員	0.4%
10 証券会社の窓口や営業職員	0.5%
11 保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口	7.8%
12 保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	9.9%
13 勤め先や労働組合等を通じて	3.4%
14 その他（具体的に：)	5.6%

不明 0.6%

3-18 その加入先について、現在どのような点に満足していらっしゃいますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。（○はいくつでも）

N：1200

1 定期的な訪問がある	24.5%
2 マナー・態度が良い	17.3%
3 商品知識や保障見直しの提案力が良い	16.8%
4 保障内容の説明や手続きの対応が良い	23.8%
5 相談に迅速に対応してくれる	26.0%
6 生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	7.4%
7 サービス品の提供やイベント招待がある	2.0%
8 手間がかからない	29.6%
9 その他（具体的に：)	2.3%
10 特に満足している点はない	15.1%

不明 0.8%

3-19 それでは、その加入先について、現在どの程度満足なさっていますか。（○はひとつ）

N：1200

1	2	3	4	
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	
26.2%	64.2%	7.5%	1.4%	不明 0.8%

3-20 その生命保険商品について、現在どのような点に満足していらっしゃいますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。(○はいくつでも)

N : 1200

1	保障の範囲が広い	16.7%
2	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている	46.4%
3	契約の途中で内容を自由に変更できる	6.2%
4	保障内容に比べ掛金が安い	16.8%
5	契約者貸付が利用できる	1.8%
6	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	14.3%
7	話題性のある商品である	1.3%
8	保障と貯蓄を兼ねている	13.3%
9	利回りが他の金融商品に比べて有利	4.5%
10	配当金が期待できる	2.7%
11	税制上のメリットがある	3.8%
12	その他（具体的に：)	1.7%
13	特に満足している点はない	6.3%

不明 7.8%

3-21 それでは、その生命保険商品について、現在どの程度満足なさっていますか。(○はひとつ)

N : 1200

1	2	3	4	
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	
20.0%	68.4%	8.8%	0.8%	不明 2.1%

3-22 その生命保険会社の商品やサービス全般について、現在どの程度満足なさっていますか。(○はひとつ)

N : 1200

1	2	3	4	
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	
18.5%	68.8%	9.2%	1.3%	不明 2.3%

3-23 その生命保険会社について現在どのような点を評価していますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。(○はいくつでも)

N : 1200

1	契約内容に関する情報がわかりやすい	32.9%
2	顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる	32.3%
3	生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる	8.2%
4	保険金や給付金が正確（確実）に支払われそう	34.9%
5	保険金や給付金の請求手続や契約内容の変更手続が簡単そう	12.8%
6	会社の様々な情報を積極的に開示している	3.0%
7	社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている	7.1%
8	経営内容が健全である	13.9%
9	顧客の個人情報管理が行き届いている	2.3%
10	ホームページが充実している	2.0%
11	社会貢献活動に取り組んでいる	1.2%
12	その他（具体的に：)	1.1%
13	この中に評価しているものはない	13.3%

不明 2.1%

問4 〔かんぽ生命の加入金額等〕

平成19年10月1日以降に、かんぽ生命の生命保険（個人年金保険を含む）に加入されているお宅におうかがいします。

（財形終身年金保険、財形住宅貯蓄保険、財形積立貯蓄保険は除いてお答えください。）

どなたも加入されていないお宅の場合は、問5へおすすみください。

夫婦保険（疾病入院特約または疾病傷害入院特約を付加している場合も含む）に加入し、配偶者やお子さんもいっしょに保障されている場合は、それも含めてお答えください。

4-1 お宅では、いくらぐらいかんぽ生命の生命保険に被保険者として加入されていますか。現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。

被保険者		死亡保険金額					
		億	千万	百万	十万	万	
N : 341	世帯主の方	*					400万円
N : 399 (妻 N : 394)	配偶者の方	*					336万円 (妻 334万円)
N : 243	その他のご家族の合計						556万円

4-2 お宅では、現時点において病気で入院された場合に、かんぽ生命の生命保険からお受け取りになれる入院保険金は、1日につき、いくらになりますか。

被保険者		入院保険金の日額				
		十万	万	千	百	
N : 336	世帯主の方					6.1千円
N : 401 (妻 N : 396)	配偶者の方					5.6千円 (妻 5.5千円)

4-3 1年間に払い込まれるかんぽ生命の生命保険の掛金（保険料）は、お宅全部でいくらになりますか。

（注）「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めないでください。

N : 661	(世帯の年間払込掛金総額)	億	千万	百万	十万	万	千	
		*						29.1万円

4-4 お宅で加入されているかんぽ生命の生命保険で、一番最近加入された保険の主な加入理由はどういうことですか。（○はいくつでも）

下取り制度（変更増額制度）を利用して、新しい生命保険に加入されたものも含めてお考えください。

N : 661

1 希望にあった生命保険だったので	19.7%	9 無診査だったので	5.0%
2 従来なかったような新しい生命保険だったので	1.7%	10 以前加入したことがあるので	16.3%
3 掛金が安かったので	7.3%	11 家族、友人、知人などにすすめられたので	5.6%
4 かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから	3.8%	12 郵便貯金（定額貯金など）が満期になったので	9.8%
5 加入後のサービスがよいと思ったので	3.5%	13 政府が間接的に株式保有しているので安心してさうだと思ふから	5.4%
6 郵便局員・かんぽ生命の営業職員の方が親身になって説明してくれたので	27.5%	14 近くに他の生命保険会社、生協・全労済、J A（農協）が無く、これらの保険や共済に加入することができないから	0.6%
7 郵便局員・かんぽ生命の営業職員の方が知り合いだったので	11.2%	15 その他（具体的に：	3.5%
8 以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたので	21.0%		

不明 17.5%

問5 〔簡易保険の加入金額等〕

郵便局の簡易保険（年金保険を含む）に加入されているお宅におうかがいします。平成19年10月1日以降に加入したかんぽ生命は除いてお答えください。
 （財形終身年金保険、財形住宅貯蓄保険、財形積立貯蓄保険は除いてお答えください。）
 どなたも加入されていないお宅の場合は、問6へおすすみください。

家族保険・夫婦保険（疾病入院特約または疾病傷害入院特約を付加している場合も含む）に加入し、配偶者やお子さんもしょに保障されている場合は、それも含めてお答えください。

- 5-1 お宅では、いくらぐらい郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）に被保険者として加入されていますか。
 現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。

被保険者		死亡保険金額					
		億	千万	百万	十万	万	
N: 280	世帯主の方 →	*					351万円
N: 257 (妻 N: 253)	配偶者の方 →	*					311万円 (妻 309万円)
N: 125	その他のご家族の合計 →						437万円

- 5-2 お宅では、現時点において病気で入院された場合に、郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）からお受け取りになれる入院保険金は、1日につき、いくらになりますか。

被保険者		入院保険金の日額				
		十万	万	千	百	
N: 281	世帯主の方 →					5.7千円
N: 260 (妻 N: 256)	配偶者の方 →					5.2千円 (妻 5.2千円)

- 5-3 1年間に払い込まれる郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）の掛金（保険料）は、お宅全部でいくらになりますか。

（注）「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めないでください。

N: 459		億	千万	百万	十万	万	千	
	（世帯の年間払込掛金総額）	*						22.8万円

問6 〔JA（農協）の生命共済の加入金額等〕

JA（農協）の生命共済（年金共済を含む）に加入されているお宅におうかがいします。
 （財形貯蓄共済、財形給付金共済、財形住宅貯蓄共済は除いてお答えください。また、火災共済、自動車共済、建物更生共済などの損害共済も除いてください。）
 どなたも加入されていないお宅の場合は問7へおすすみください。

1件の契約に家族保障特約をつけて配偶者の方やお子さんもいっしょに保障されている場合は、それも含めてお答えください。

6-1 お宅では、いくらぐらいJA（農協）の生命共済に被共済者（共済のかけられている方）として加入されていますか。

（注）本人が掛金を負担している団体定期生命共済を含めてお答えください。

現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡共済金額はいくらになりますか。

（注）死亡共済金を年金で受け取る契約や特約に加入されている場合には、総受け取り金額（年金年額×受取年数）をお答えください。なおこの場合、老後等に支払われる通常の年金は含まれません。

被共済者		死亡共済金額				
		億	千万	百万	十万	万
N : 261	世帯主の方 →					万円 1280万円
N : 216 (妻 N : 214)	配偶者の方 →					万円 936万円 (妻 935万円)
N : 158	その他のご家族の合計 →					万円 1352万円

6-2 お宅では、病気で入院された場合にJA（農協）の生命共済からお受け取りになれる入院共済金は、1日につき、いくらになりますか。

（注）ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院共済金は除いてお答えください。

被共済者		入院共済金の日額			
		十万	万	千	百
N : 264	世帯主の方 →				百円 7.6千円
N : 217 (妻 N : 215)	配偶者の方 →				百円 6.6千円 (妻 6.7千円)

6-3 1年間に払い込まれるJA（農協）の生命共済の掛金は、お宅全部でいくらになりますか。

（注）「一時払契約」「頭金制度」および「払込が完了している契約」の掛金は含めないでください。

また、割戻金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N : 391
 （世帯の年間払込掛金総額）

億	千万	百万	十万	万	千
*					

万円 25.2万円

問7 〔生協や全労済の生命共済の加入金額等〕

生協の生命共済、全労済の生命共済（年金共済を含む）に加入されているお宅におうかがいします。
 （交通災害共済、火災共済、自動車共済などの損害共済を除いてお答えください。）
 どなたも加入されていないお宅の場合は問8へおすすみください。

7-1 お宅では、いくらぐらい生協の生命共済と全労済の生命共済に被共済者（共済のかけられている方）として加入されていますか。

（注）本人が掛金を負担している全労済の団体生命共済を含めてお答えください。

現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡共済金額はいくらになりますか。

被共済者		死亡共済金額					
		億	千万	百万	十万	万	
N : 766	世帯主の方	*					495万円
N : 756 (妻 N : 750)	配偶者の方	*					338万円（妻 338万円）
N : 467	その他のご家族の合計						417万円

7-2 お宅では、病気で入院された場合に、生協の生命共済および全労済の生命共済からお受け取りになれる入院共済金は、1日につき、いくらになりますか。

（注）ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院共済金は除いてお答えください。

被共済者		入院共済金の日額				
		十万	万	千	百	
N : 783	世帯主の方					6.2千円
N : 759 (妻 N : 753)	配偶者の方					5.5千円（妻 5.5千円）

7-3 生協の生命共済および全労済の生命共済を合わせた1年間に払い込まれる掛金は、お宅全部でいくらになりますか。

（注）「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めないでください。

N : 1133		億	千万	百万	十万	万	千	
	（世帯の年間払込掛金総額）	*	*					7.7万円

民間の生命保険会社、かんぽ生命、郵便局、JA（農協）、生協、全労済のいずれかの生命保険（個人年金保険等を含む）に加入されているお宅におうかがいします。

問8 〔加入保障内容に対する考え方〕

8-1 お宅の将来の生活設計をお考えになった場合、現在、加入されている保障内容で十分ですか、それとも、不十分ですか。（○はひとつ）

N : 3533

1	2	3	4	
十分	ほぼ十分	やや不十分	不十分	不明
11.4%	34.7%	23.8%	11.7%	18.4%

(注) 一時払契約の掛金は除いてお答えください。

1 年間に最大

--	--	--	--

 万円までは支出できる

34.3万円

- 9-3 お宅で加入されている民間の生命保険会社の個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、JA（農協）の年金共済、全労済の年金共済の年金受取開始時における1年間に受け取れる年金の年額（配当金・割戻金によるものは除く）はいくらになりますか。被保険者（保険がかけられている方）ごとに年金額の合計をお答えください。ただし、変額個人年金保険は除いてお答えください。

	被保険者	基本年金額					
		億	千万	百万	十万	万	
N : 591	世帯主の方	*					万円 89.4万円
N : 480	配偶者の方	*					万円 71.5万円

- 9-4 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の掛金の払込方法は、加入時に掛金を全額支払う「一時払」でしたか、掛金を月・半年・年ごとに支払う方法ですか、それとも「月・半年・年ごとの支払いは完了」していますか。（○はいくつでも）

N : 874	1 一時払にした 14.6%	2 月・半年・年ごとに支払っている 56.2%	3 月・半年・年ごとの支払いは完了した 18.5%	不明 12.2%
---------	----------------------	-------------------------------	---------------------------------	-------------

付問1 1年間に払い込む掛金はお宅全部でいくらになりますか。

N : 491	千万	百万	十万	万	千	
						千円 20.1万円

付問2 一時払をした掛金はいくらでしたか。
複数件加入されている場合は合計金額をお答えください。

N : 128	億	千万	百万	十万	万	
						万円 726万円

- 9-5 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の受け取りが開始される年齢は何歳ですか。すでに受け取りが開始されたものも含め、被保険者として加入されている世帯主、配偶者の方それぞれについてお答えください。また、2件以上加入されている場合はそれぞれの年齢をお答えください。（○はいくつでも）

N : 874	被保険者	59歳以下	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳以上	加入していない	不明
	世帯主の方	1 3.0%	2 24.1%	3 4.2%	4 22.4%	5 4.5%	6 9.0%	7 15.9%	21.4%
	配偶者の方	1 4.2%	2 20.6%	3 4.2%	4 19.7%	5 3.3%	6 5.4%	7 15.8%	32.7%

- 9-6 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の年金の受け取り期間は何年ですか。2件以上加入されている場合はそれぞれの受け取り期間をお答えください。
（○はいくつでも）

N : 874	被保険者	5年間	10年間	15年間	終身（生涯）	その他	加入していない	不明
	世帯主の方	1 6.5%	2 36.3%	3 7.1%	4 14.8%	5 2.9%	6 15.8%	22.0%
	配偶者の方	1 5.3%	2 30.8%	3 4.9%	4 10.8%	5 2.6%	6 15.4%	33.6%

全員の方におうかがいします。

問 10 〔生活保障の準備状況と今後の意向〕

- 10-1 (1) お宅では、以下にあげられるようなご家族の生活保障の準備のうち、現在準備をしているものがありますか。生命保険や損害保険、預貯金、有価証券など自助努力で準備しているものについてお答えください。(○はいくつでも)
- (2) また、今後数年間のうちに準備している金額を増やしたいもの、減らしたいものがありますか。(○はいくつでも)

N : 3983

		(1) 現在準備して いるもの (○はいくつ でも)	(2) - 1 今後数年間の うちに、増や したいもの (○はいくつ でも)	(2) - 2 今後数年間の うちに、減ら したいもの (○はいくつ でも)
世帯主	万一の場合の資金準備	1 48.6%	1 18.7%	1 1.2%
	病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	2 52.2%	2 13.0%	2 1.2%
	老後の生活資金の準備	3 32.5%	3 27.1%	3 0.6%
	要介護状態となった場合の介護資金の準備	4 18.7%	4 21.0%	4 0.4%
	病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	5 19.3%	5 17.3%	5 0.7%
配偶者	万一の場合の資金準備	6 36.2%	6 16.4%	6 0.6%
	病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	7 43.7%	7 13.6%	7 0.8%
	老後の生活資金の準備	8 25.2%	8 25.1%	8 0.5%
	要介護状態となった場合の介護資金の準備	9 15.0%	9 19.1%	9 0.3%
	病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	10 12.0%	10 13.2%	10 0.7%
子ども	万一の場合の資金準備	11 13.7%	11 10.3%	11 0.6%
	病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	12 18.7%	12 9.4%	12 0.6%
	教育、結婚への資金準備	13 12.8%	13 14.8%	13 0.7%
	老後の生活資金の準備	14 3.5%	14 7.2%	14 0.4%
	要介護状態となった場合の介護資金の準備	15 2.5%	15 6.6%	15 0.5%
	病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	16 3.4%	16 7.8%	16 0.5%
	その他（具体的に：)	17 0.1%	17 0.2%	17 0.2%
特になし		18 17.2%	18 34.4%	18 58.3%
		不明 8.0%	不明 19.0%	不明 37.3%

全員の方におうかがいします。

問 11〔生活保障に対する考え方〕

11-1 お宅で、もし現在、世帯主の方に万一のことがあった場合のことについておうかがいします。

11-1-(1) その後の遺族の生活資金をまかなうために、どのくらいのお金が必要とお考えですか。

1年間にいくらのお金が必要で、何年分あれば大丈夫とお答えください。

N : 3983

1 年間に

--	--	--	--

 万円必要で

--	--

 年分あれば大丈夫

326.7万円 16.7年

11-1-(2) その後の遺族の生活資金準備は現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになっていますか。(○はひとつ)

N : 3983

1 大丈夫 6.4%	2 たぶん大丈夫 23.7%	3 少し不安である 34.8%	4 非常に不安である 31.0%	不明 4.1%
------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	------------

11-1-(3) お家で現在準備されているもののうち、遺族の生活資金準備として、どのようなもの
に期待されていますか。(〇はいくつでも)

公的保障（厚生年金、国民年金の遺族年金など）や企業保障（勤務先からの退職金、弔慰金など）以外のものをお考えください。

N : 3983

	現在、遺族の生活資金準備として期待しているもの（○はいくつでも）	
生命保険（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、ＪＡ（農協）の生命共済、生協や全労済の生命共済）	1	50.8%
預貯金、貸付信託、金銭信託	2	46.4%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	3	12.3%
財形貯蓄	4	5.8%
不動産	5	20.3%
損害保険会社の傷害保険	6	5.3%
市町村などの交通災害共済（保険）	7	2.6%
その他（具体的に：)	8	1.5%
期待しているものはない	9	21.8%

不明 4.3%

11-2 お家で、もし現在、世帯主の方が病気や交通事故などで2～3カ月入院した場合の、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえのことについておうかがいします。

11-2-(1) お宅では、世帯主の方が入院した場合、1カ月につきいくぐらい、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえが必要とお考えですか。

N : 3983

1カ月につき

百万	十万	万

 万円

25.7万円

11-2-(2) お宅では、世帯主の方が入院した場合の、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。(○はひとつ)

N : 3983

1 大丈夫 6.7%	2 たぶん大丈夫 26.7%	3 少し不安である 35.9%	4 非常に不安である 27.6%	不明 3.2%
------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	------------

11-2-(3) お宅で現在準備されているもののうち、世帯主の方が入院した場合の、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。(○はいくつでも)

N : 3983

	現在、入院した場合のそなえとして期待しているもの (○はいくつでも)	
災害や疾病などで入院したときに、給付金が受け取れる生命保険や特約 (民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、J A (農協) の生命共済、生協や全労済の生命共済)	1	58.0%
預貯金、貸付信託、金銭信託	2	46.3%
損害保険会社の傷害保険、所得補償保険など	3	6.7%
有価証券 (株式、公社債、金融債、投資信託など)	4	8.0%
財形貯蓄	5	3.5%
市町村などの交通災害共済 (保険)	6	3.8%
その他 (具体的に:)	7	1.7%
期待しているものはない	8	18.9%

不明 3.5%

11-3 老後生活資金のことについておうかがいします。

11-3-(1) お宅では、公的年金 (厚生年金、国民年金など) 以外に夫婦の老後生活資金として月々いくらぐらい必要とお考えですか。現在のお金の価値を基準にお答えください。

* 公的年金の支給開始年齢は生年月日によって異なり、今後60歳から65歳に徐々に引き上げられていきます。60~64歳の間と65歳以降では年金額が異なる場合がありますのでそれぞれについてお答えください。60~64歳の途中で支給が開始されるお宅の場合は5年間のおおよその平均をお考えください。

(世帯主が65歳以上のお宅は②のみお答えください)

①世帯主が60~64歳の間の必要額

N : 2294

公的年金以外に月々約

百万	十万	万

 万円必要
20.6万円

②世帯主が65歳以降の必要額

N : 3983

公的年金以外に月々約

百万	十万	万

 万円必要
15.9万円

11-3-(2) お宅では、老後の生活資金をまかなうための資金準備は現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。(○はひとつ)

N : 3983

1 大丈夫 4.8%	2 たぶん大丈夫 21.8%	3 少し不安である 36.1%	4 非常に不安である 34.0%	不明 3.3%
------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	------------

- 11-3-(3) お宅で現在準備されているもののうち、老後の生活資金準備として、どのようなものに期待されていますか。(○はいくつでも)
 公的保障(厚生年金、国民年金など)や企業保障(勤務先からの退職金、企業年金など)以外のものをお答えください。

N : 3983

	現在、老後の生活資金準備として期待しているもの(○はいくつでも)	
個人年金保険(民間の個人年金保険(定額)や変額個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、J A(農協)の年金共済、全労済の年金共済)	1	15.2%
生命保険(民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、J A(農協)の生命共済、生協や全労済の生命共済)	2	21.8%
損害保険会社の年金払積立傷害保険	3	2.4%
預貯金、貸付信託、金銭信託	4	42.7%
有価証券(株式、公社債、金融債、投資信託など)	5	11.8%
財形貯蓄(財形年金を含む)	6	4.7%
不動産	7	14.3%
その他(具体的に:)	8	1.3%
期待しているものはない	9	28.3%

不明 9.1%

- 11-4 お宅で、もし世帯主もしくは配偶者の方が要介護状態(寝たきりや認知症など)となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえのことについておうかがいします。

(注) 公的介護保険制度は原則65歳以上を対象とし、介護が必要とされる方にサービスを提供するものです。受けられるサービスの内容や自己負担額(1割負担となります)は認定される要介護度によって異なります。

- 11-4-(1) お宅では、世帯主もしくは配偶者の方が要介護状態となった場合、公的介護保険の範囲外の費用として、どのくらいの金額を準備しておけば安心だとお考えですか。

- ・住宅改造や介護用品購入などの初期費用はいくらぐらいとお考えですか。

N : 3983

千万	百万	十万	万

万円

242.2万円

- ・月々の介護費用はいくらぐらいで、どれくらいの期間必要とお考えですか。

N : 3983

月々

百万	十万	万

万円

16.6万円

年で

--	--

年

--	--

ヵ月分

13年11ヵ月(167.2ヵ月)

- 11-4-(2) お宅では、世帯主もしくは配偶者の方が要介護状態となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。(○はひとつ)

N : 3983

1 大丈夫 3.6%	2 たぶん大丈夫 15.6%	3 少し不安である 34.0%	4 非常に不安である 41.2%	不明 5.5%
------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	------------

11-4-(3) お宅で現在準備されているもののうち、世帯主もしくは配偶者の方が要介護状態となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。(〇はいくつでも)

N : 3983

	現在、要介護状態となった場合の そなえとして期待しているもの (〇はいくつでも)	
所定の要介護状態となったときに、年金や一時金等が受け取れる 介護保険や介護特約（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、 簡易保険、J A（農協）の生命共済、生協や全労済の生命共済）	1	5.4%
介護保険や介護特約以外の生命保険（民間の生命保険、かんぽ生 命の生命保険、簡易保険、J A（農協）の生命共済、生協や全労 済の生命共済）	2	15.4%
個人年金保険（民間の個人年金保険（定額）や変額個人年金保険、 かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、J A（農協）の 年金共済、全労済の年金共済）	3	6.3%
損害保険会社の介護費用保険	4	2.2%
損害保険会社の年金払積立傷害保険	5	0.2%
預貯金、貸付信託、金銭信託	6	37.2%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	7	9.4%
財形貯蓄（財形年金を含む）	8	3.2%
不動産	9	11.8%
その他（具体的に：)	10	1.0%
期待しているものはない	11	31.7%

不明 13.5%

11-5 お宅で、もし現在、世帯主の方が病気やケガなどによる長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合の経済的そなえのことについておうかがいします。
(世帯主の方が無職の場合は、問12へおすすみください。)

11-5-(1) お宅では、世帯主の方が長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合、教育費や住宅ローンの支払いなどを考慮して1カ月につきいくらぐらい、生活資金が必要とお考えですか。

N : 2618

1カ月につき

百万	十万	万

万円

28.0万円

11-5-(2) お宅では、世帯主の方が長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合のそなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。(〇はひとつ)

N : 2618

1 大丈夫 3.2%	2 たぶん大丈夫 15.0%	3 少し不安である 33.2%	4 非常に不安である 39.4%
------------------	----------------------	-----------------------	------------------------

不明
9.1%

- 11-5-(3) お宅で現在準備されているもののうち、世帯主の方が長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合の経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。
公的保障(障害年金や傷病手当金など)以外のものをお答えください。(○はいくつでも)

N : 2618

	現在、収入がとだえた場合の そなえとして期待しているもの (○はいくつでも)	
生命保険会社の生活障害・就業不能保障保険 ※1	1	23.2%
損害保険会社の所得補償保険 ※2	2	5.9%
災害や疾病などで入院したときに、給付金が受け取れる生命保険や特約(民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、J A (農協)の生命共済、生協や全労済の生命共済)	3	25.7%
生命保険(上記以外の生命保険)	4	10.2%
損害保険会社の傷害保険、医療保険	5	3.8%
預貯金、貸付信託、金銭信託	6	35.3%
有価証券(株式、公社債、金融債、投資信託など)	7	7.8%
財形貯蓄	8	4.5%
不動産	9	10.6%
その他(具体的に：)	10	1.2%
期待しているものはない	11	25.9%

不明 7.7%

※1 病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。

※2 ケガや病気によって就業不能となった場合の所得の喪失を補償するもの。

全員の方におうかがいします。

問12 〔今後の生命保険の加入について〕

12-1 お宅では、今後、生命保険（個人年金保険を含む）に加入したい（追加加入したい）という
お考えがありますか。（○はひとつ）

N : 3983

1	2	3	
近く加入したい	余裕が出来たら加入したい	その考えは全くない	不明
2.9%	25.2%	70.5%	1.4%

12-2へおすすめください

N : 2809

付問 生命保険に加入（追加加入）されるお考えがないのは、どうしてですか。
（○はいくつでも）

1 経済的な余裕がないので	52.6%
2 生命保険の必要性をあまり感じていないので	13.3%
3 健康上の理由や年齢制限のため加入できないので	19.4%
4 ほかの貯蓄方法のほうが有利だと思うので	10.3%
5 厚生年金など国の社会保障を期待している	7.8%
6 退職金や企業年金など会社の保障を期待している	3.4%
7 期間が長すぎるので	3.1%
8 インフレに弱いから	0.7%
9 生命保険や営業職員が嫌いなので	2.6%
10 生命保険にはもう充分、加入しているので	22.4%
11 生命保険についてよくわからないので	2.5%
12 その他（具体的に：)	4.2%
13 とくに理由はない	8.1%

不明 1.7%

問13へおすすめください

(12-1で「1」または「2」と回答された方におうかがいします。)

12-2 お宅で今後、生命保険に加入されるとしたら、どなたが被保険者として加入される必要があるとお考えですか。1～8の中からいくつでもお答えください。(○はいくつでも)

N : 1119

1 わたし（世帯主）	67.7%
2 配偶者	50.0%
3 未婚で就学前・就学中の子ども	15.3%
4 未婚で就学を終えた子ども	8.3%
5 既婚の子ども・子どもの配偶者	1.7%
6 親	0.6%
7 孫	0.6%
8 その他（具体的に：)	0.4%

4～8だけに○を
つけられた方は
問13へおすすみください

N : 758

不明 8.8%

(12-2で「1」に○をつけられた方におうかがいします。)

付問1 もし、あなた（世帯主）が加入されるとすれば、どのような種類の生命保険に加入されるのが良いとお考えですか。(○はいくつでも)

1 病気や災害、事故による万一の場合の保障に重点をおいたもの	50.7%	5 子どもの教育資金や結婚資金の準備に重点をおいたもの	13.5%
2 病気やケガの治療や入院にそなえるもの	52.0%	6 貯蓄に重点をおいたもの	15.3%
3 保障と貯蓄をかねたもの	35.8%	7 介護費用の準備に重点をおいたもの	35.2%
4 老後の生活資金の準備に重点をおいたもの	45.0%	8 その他（具体的に：)	2.1%

不明 0.9%

付問2 そのうち最も重視されるものはどれですか。付問1で○をつけられたものの中から選んで番号を1つ記入してください。

N : 758

1 : 22.0% 2 : 20.6% 3 : 11.6% 4 : 20.2%
5 : 1.2% 6 : 2.9% 7 : 7.9% 8 : 1.5%

N : 559

不明 12.1%

(12-2で「2」に○をつけられた方におうかがいします。)

付問3 もし、配偶者の方が加入されるとすれば、どのような種類の生命保険に加入されるのが良いとお考えですか。(○はいくつでも)

1 病気や災害、事故による万一の場合の保障に重点をおいたもの	44.5%	5 子どもの教育資金や結婚資金の準備に重点をおいたもの	7.9%
2 病気やケガの治療や入院にそなえるもの	56.9%	6 貯蓄に重点をおいたもの	12.3%
3 保障と貯蓄をかねたもの	26.5%	7 介護費用の準備に重点をおいたもの	29.3%
4 老後の生活資金の準備に重点をおいたもの	39.9%	8 その他（具体的に：)	1.1%

N : 171

不明 2.1%

(12-2で「3」に○をつけられた方におうかがいします。)

付問4 もし、未婚で就学前・就学中のお子さんが加入されるとすれば、どのような種類の生命保険に加入されるのが良いとお考えですか。(○はいくつでも)

1 病気や災害、事故による万一の場合の保障に重点をおいたもの	49.1%	5 子どもの教育資金や結婚資金の準備に重点をおいたもの	49.1%
2 病気やケガの治療や入院にそなえるもの	63.2%	6 貯蓄に重点をおいたもの	17.5%
3 保障と貯蓄をかねたもの	31.6%	7 介護費用の準備に重点をおいたもの	4.1%
4 老後の生活資金の準備に重点をおいたもの	4.7%	8 その他（具体的に：)	3.5%

不明 0.0%

全員の方におうかがいします。

問 13 〔民間の生命保険の解約、失効について〕

- 13-1 お宅では、平成27年から今までの3年間に、途中でおやめになった民間の生命保険会社の生命保険（個人年金保険を含む）がありますか。平成19年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除いてお答えください。（○はひとつ）

また、あったとすれば何件、途中でおやめになっていますか。

(注) 将来の掛金の払込を中止して契約を続ける払済保険、延長定期保険、下取り（転換）した生命保険、特約のみの解約や保険金額の減額など保障内容は見直しても契約を続けている場合は含めないでください。

N : 3983

1 1件	2 2件	3 3件以上	4 3年間にやめた民間の生命 保険会社の生命保険はない	不明
6.9%	1.7%	0.7%	86.8%	4.0%

問14へおすすみください

- 13-2 そのおやめになった生命保険は、何カ月あるいは何年つづけられましたか。
2件以上、おやめになった生命保険がある場合には、一番最近おやめになった生命保険についてお答えください。

N : 367

年と カ月
 13年0カ月 (156.1カ月)

- 13-3 そのおやめになった生命保険契約の被保険者（保険がかけられていた方）はどなたでしたか。
主たる被保険者1人をお答えください。（○はひとつ）

N : 367

1	わたし（世帯主）	65.9%	5	既婚の子ども・子どもの配偶者	2.2%
2	配偶者	22.3%	6	親	0.8%
3	未婚で就学前・就学中の子ども	2.2%	7	孫	0.8%
4	未婚で就学を終えた子ども	4.6%	8	その他（具体的に：	0.8%
				不明	0.3%

- 13-4 そのおやめになった生命保険は主としてどういう目的で加入されたものでしたか。
(○はいくつでも)

N : 367

1 万一のときの家族の生活保障のため	45.2%	8 子どもの教育、結婚資金のため	5.4%
2 万一のときの葬式代のため	13.4%	9 相続および相続税の支払を考えて	0.5%
3 医療費や入院費のため	59.9%	10 財産づくりのため	1.6%
4 万一のときのローンや債務の返済のため	3.0%	11 土地、家屋の取得、増改築のため	0.3%
5 災害、交通事故などにそなえて	9.0%	12 貯蓄のため	5.4%
6 老後の生活資金のため	7.1%	13 税金が安くなるので	1.4%
7 介護費用のため	2.2%	14 その他（具体的に：)	3.0%
			不明 0.3%

13-5 そのおやめになった生命保険でお受け取りになった解約返戻金（払戻金）は、その後どのようにお使いになりましたか。（○はいくつでも）

N : 367

1 他の生命保険の掛金にあてた	15.8%	5 自動車や家電製品等耐久消費財の購入にあてた	4.4%
2 預貯金に預け替えた	21.5%	6 住宅ローン等のローンの返済にあてた	3.8%
3 損害保険商品や株式、投資信託、 公社債等に預け替えた	1.1%	7 現金で保有した	6.5%
4 生活費にあてた	24.8%	8 その他（具体的に：)	6.3%
		9 解約返戻金（払戻金）はなかった	25.6%

不明 1.9%

13-6 どうして、その生命保険を途中で、おやめになったのですか。（○はいくつでも）

N : 367

1 掛金を支払う余裕がなくなったから	31.9%	問14へ おすすめください
2 掛金が更新により高くなってしまったから	14.4%	
3 生命保険はインフレに対応できないと考えて	0.8%	
4 まとまったお金が必要となって	11.2%	
5 期間が長すぎるのでいやになった	3.3%	
6 義理で入ったものなので	10.4%	
7 高額な保障が必要なくなったから	7.6%	
8 少額すぎて生命保険として役に立たないので	3.0%	
9 他の生命保険に切り替えたので	33.0%	問14へ おすすめください
10 イメージしていた商品内容と異なるため	3.0%	
11 他に有利な貯蓄手段があったので	1.9%	
12 加入後のアフターサービスが不満だったので	2.7%	
13 離婚や子どもの独立など家族の構成が変わったから	3.0%	
14 経営内容が不安だったので	0.8%	
15 その他（具体的に：)	10.4%	

不明 1.9%

N : 121

（13-6で「9」とお答えの方におうかがいします。）

付問1 切り替えたのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも）

1 保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから	60.3%
2 保障の範囲が広がったから	28.9%
3 掛金が安かったから	35.5%
4 配当金が多そうだったから	2.5%
5 加入者へのサービスが良さそうだったから	3.3%
6 会社（生命保険会社・郵便局・J A（農協）等）の経営内容が良かったから	1.7%
7 営業職員や代理店の人が熱心だったから	2.5%
8 営業職員や代理店の人の説明が優れていたから	9.1%
9 営業職員や代理店の人が縁故者・知人だったから	8.3%
10 仕事上のつきあいや取引で頼まれたから	1.7%
11 その他（具体的に：)	6.6%

不明 0.0%

全員の方におうかがいします。

問 14 〔今後の生命保険の加入先について〕

14-1 お宅で今後、仮に生命保険や個人年金保険に加入されるとしたら、どちらから加入したいとお考えですか。(○はひとつ)

N : 3983

1 家庭に来る生命保険会社の営業職員	22.6%
2 職場に来る生命保険会社の営業職員	4.3%
3 通信販売（インターネットを通じて）	12.5%
4 通信販売（テレビ・新聞・雑誌などを通じて）	3.7%
5 生命保険会社の窓口	6.4%
6 郵便局の窓口や営業職員	12.1%
7 都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	1.7%
8 地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	1.8%
9 信託銀行の窓口や銀行員	0.3%
10 証券会社の窓口や営業職員	0.4%
11 保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口	6.5%
12 保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	3.6%
13 勤め先や労働組合等を通じて	6.6%
14 その他（具体的に：)	12.4%

不明 5.3%

問 15 〔生命保険に関する知識について〕

15-1 お宅で今後、仮に生命保険や個人年金保険に加入される場合に、必要と考えられる知識の中で、不足していると思われるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでお答えください。(○はいくつでも)

N : 3983

1 生命保険や個人年金保険の仕組み	31.6%
2 どういった保障が必要なのか	39.1%
3 どの会社から加入したらいいのか	15.3%
4 加入金額がどのくらい必要なのか	28.6%
5 家族の中で誰が優先して加入したらいいのか	6.1%
6 いつ加入したらいいのか	6.1%
7 保障がいつまで必要なのか	27.0%
8 その他（具体的に：)	2.4%
9 特に不足しているものはない	25.5%

不明 4.3%

15-2 それでは、生命保険や個人年金保険に関する知識全般について、A・Bどちらに近いと思われますか。1～4の中から1つお選びください。(○はひとつ)

A：生命保険や個人年金保険について十分に知識があると思う

B：生命保険や個人年金保険についてほとんど知識がないと思う

N : 3983

1 Aに近い 6.0%	2 どちらかといえばAに近い 24.6%	3 どちらかといえばBに近い 38.4%	4 Bに近い 28.2%	不明 2.9%
-------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------	------------

問16 〔生命保険料控除と加入・継続意向について〕

- 16-1 お宅では、生活保障（万一の際や、病気・ケガや介護、老後の経済的備え）に関する次のような考え方について、A・Bどちらの考え方に近いですか。1～4の中から1つお選びください。（○はひとつ）

A：生活保障は、公的保障（公的年金等）だけで充分だと思っている

B：生活保障は、公的保障と自助努力による私的保障（生命保険、個人年金等）の両方で準備していく必要がある

N：3983

1	2	3	4	不明
Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	
4.0%	12.1%	49.1%	30.8%	4.1%

16-2へおすすめください

（16-1で「3」か「4」に○をつけられた方におうかがいします。）

N：3180

付問 公的保障と私的保障の両方で生活保障を準備するための考え方として、A・Bどちらの考え方に近いですか。（○はひとつ）

A：自助努力のための支援を充実して欲しい

B：今よりも高い社会保険料や税金を払ってもよいので、公的保障を充実して欲しい

1	2	3	4	不明
Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	
20.2%	48.5%	22.3%	6.2%	2.8%

全員の方におうかがいします。

- 16-2 現在、生命保険料控除については、遺族保障などの自助努力を支援する「一般生命保険料控除制度」、介護医療保障などの自助努力を支援する「介護医療保険料控除制度」、老後保障の自助努力を支援する「個人年金保険料控除制度」の3種類がありますが、このことについてご存知でしたか。

N：3983

1 知っている	41.1%
2 知らなかった	56.3%
不明	2.6%

- 16-3 仮に生命保険料控除制度が拡充された場合、お宅では今後の保険への加入（追加加入）についてどのようにお考えですか。（○はひとつ）

N：3983

1 新たに保険に加入したり、現在加入している保険を見直し、より充実した保障内容にする	5.5%
2 新たに保険に加入したり、現在加入している保険を見直し、より充実した保障内容にすることを検討しようと思う	22.9%
3 将来、保険の保障内容を充実させる際の励みになると思う	26.9%
4 なんとも思わない	41.1%
不明	3.6%

16-4 「一般生命保険料控除制度」、「介護医療保険料控除制度」、「個人年金保険料控除制度」が、仮に縮小・廃止された場合、お宅では現在加入されている保険についてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

N : 3983

1 現在加入している保険に関して解約あるいは減額をする	3.9%
2 現在加入している保険に関して解約あるいは減額を検討しようと思う	15.7%
3 現在加入している保険を続けていけるかどうか不安に思う	30.9%
4 なんとも思わない	43.8%

不明 5.7%

問17 「死亡保険金の相続税非課税措置と加入・継続意向について」

17-1 残された家族の生活資金確保等のためにお受取りになった死亡保険金の額のうち「すべての法定相続人数×500万円」に相当する金額については、相続税が非課税とされていますが、このことについてご存じでしたか。

N : 3983

1 知っている	38.5%
2 知らなかった	58.9%

不明 2.6%

17-2 死亡保険金の相続税非課税措置が仮に拡充された場合、お宅では今後の生命保険への加入（追加加入）についてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

N : 3983

1 新たに生命保険に加入したり、現在加入している生命保険を見直し、より充実した保障内容にする	3.8%
2 新たに生命保険に加入したり、現在加入している生命保険を見直し、より充実した保障内容にすることを検討しようと思う	15.9%
3 将来、生命保険の保障内容を充実させる際の励みになると思う	28.5%
4 なんとも思わない	48.4%

不明 3.3%

17-3 死亡保険金の相続税非課税措置が、仮に縮小・廃止された場合、お宅では現在加入されている生命保険についてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

N : 3983

1 現在加入している生命保険に関して解約あるいは減額をする	4.0%
2 現在加入している生命保険に関して解約あるいは減額を検討しようと思う	13.2%
3 現在加入している生命保険を続けていくべきか不安に思う	29.1%
4 なんとも思わない	48.6%

不明 5.1%

問18 〔民保とかんぽ生命に対する加入意向、選好理由〕

18-1 お宅で今後、生命保険の加入を検討するとした場合、どちらが好ましいとお考えですか。
(○はひとつ)

N : 3983

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 民間の生命保険会社（かんぽ生命を除く）を好む | 10.6% |
| 2 どちらかといえば民間の生命保険会社（かんぽ生命を除く）を好む | 10.2% |
| 3 どちらかといえば、かんぽ生命を好む | 8.0% |
| 4 かんぽ生命を好む | 4.0% |
| 5 どちらともいえない | 61.4% |

問19へおすすみください

〈かんぽ生命について〉

不明 5.7%

- ・平成19年10月にかんぽ生命は民営化・株式会社化されました。
- ・平成27年11月には株式上場を果たしたものの、かんぽ生命の株式は、現時点（平成30年4月）においても日本郵政を通じて政府が大半を保有しています。
- ・従来の郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「10年以内に完全売却する」旨が記載されていましたが、平成24年5月公布の改正郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「できる限り早期に処分する」旨の記載に改正されております。

▼ N : 1307

（18-1で「1」～「4」のいずれかに○をつけられた方におうかがいします）

付問 それとはどのような理由によりますか。あてはまるものを次の中からいくつでも選んでお答えください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------------------|-------|---------------------|-------|
| 1 商品やサービスが良いから | 29.2% | 8 規模が大きいから | 20.4% |
| 2 価格が手頃だから | 21.8% | 9 いざという時に政府の関与が期待でき | |
| 3 信頼できるから | 32.8% | そうだと思うから | 9.7% |
| 4 営業職員・窓口の対応がよいから | 16.8% | 10 店舗が近くにあり、便利だから | 16.0% |
| 5 営業職員・窓口で親戚、知人がいるから | 10.9% | 11 広告をよく見かけるから | 2.5% |
| 6 健全な経営をしているから | 9.6% | 12 以前加入したことがあるから | 15.4% |
| 7 政府が間接的に株式保有しているので安心 | | 13 運用成績が良いから | 2.4% |
| できそうだと思うから | 12.9% | 14 その他（具体的に： | 2.8% |

不明 2.2%

問19 〔介護経験の有無・介護の実態〕

19-1 お宅では、過去3年間に、高齢で要介護状態（寝たきりや認知症など）になったご家族やご親族の方の介護をされましたか。在宅介護、施設介護のいずれの場合についてもお答えください。（2名以上の方の介護を行った場合は、最近の方についてお答えください。また現在2名以上の方の介護を行っている場合は、介護期間が長い方についてお答えください。）

(○はひとつ)

N : 3983

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1 配偶者の介護を行っている（行った） | 2.6% |
| 2 自分の親の介護を行っている（行った） | 9.5% |
| 3 配偶者の親の介護を行っている（行った） | 3.8% |
| 4 1～3以外の親族などの介護を行っている（行った） | 1.4% |
| 5 過去3年間に家族や親族の介護をしていない | 76.9% |

F1へ
おすすみください

不明 5.8%

（19-1で「1」～「4」のいずれかに○をつけられた方におうかがいします）

N : 689

付問1 その方の介護を始めてからの期間はどのくらいですか。（どのくらいでしたか。）
（現在介護を行っている方は、介護を始めてからの経過期間をお答えください。）

約 年 カ月 4年7カ月（54.5カ月）

N : 689

付問2 その方の介護を主にどこで行っていますか。(行っていましたか。)この中から1つだけお答えください。(○はひとつ)

1 自分の家(自宅)	41.1%	4 民間の有料老人ホームや介護サービス	20.5%
2 親や親族の家	14.5%	付き住宅など	
3 国や県などの公的な介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)や介護老人保健 施設など	13.4%	5 病院	8.6%
		6 その他(具体的に:)	1.6%

N : 689

不明 0.4%

付問3 その方は公的介護保険のサービスを利用していますか。(利用しましたか。)利用している(利用した)場合は直近の(最後の)要介護認定時の要介護度(以下の1~7)をお答えください。(○はひとつ)

1 要支援1	3.3%	5 要介護3	19.3%
2 要支援2	5.4%	6 要介護4	16.8%
3 要介護1	10.3%	7 要介護5	19.9%
4 要介護2	15.4%	8 公的介護保険のサービスは利用していない(利用しなかった)	7.3%

不明 2.3%

付問4 その方の介護費用(公的介護保険サービスの自己負担費用を含む)はおよそいくらぐらいですか。(いくらぐらいでしたか。)一時的に掛かった費用と月々支払っている(支払っていた)費用それぞれについてお答えください。

・住宅改造や介護用ベッドの購入など一時的に掛かった費用のこれまでの合計額

N : 689

千万	百万	十万	万

万円 69.2万円

・月々支払っている(支払っていた)介護費用

N : 689

月々

十万	万	千

万 千円 7.8万円

*介護が終了している場合は終了した時点での金額をお答えください。

全員の方におうかがいします。

次にこの調査を統計的に分析するために、あなたやご家族のことについてお聞かせください。

F1 あなた(世帯主の方)の性別をお知らせください。

N : 3983

1 男 性 93.6%	2 女 性 6.4%
-------------------	------------------

F2 あなた(世帯主の方)の生年月はいつですか。元号の数字に○をつけ、に生まれた年、月をそれぞれご記入ください。

N : 3983

1. 大正
2. 昭和
3. 平成

年 月生まれ
59.8歳

F3 配偶者の方の生年月はいつですか。元号の数字に○をつけ、に生まれた年、月をそれぞれご記入ください。

N : 3983

1. 大正
2. 昭和
3. 平成

年 月生まれ
57.4歳

X 配偶者はいない 9.5% 不明 0.0%

F 4－1 あなた（世帯主の方）のご職業をお知らせください。該当する箇所の番号に○をおつけください。（○はひとつ）

N：3983

自 営 者	1 農林漁業の自営者・家族従業者	2.1%
	2 商工サービス業の自営者（法人組織の経営者）	2.5%
	3 商工サービス業の自営者（個人事業の経営者）	6.6%
	4 商工サービス業の家族従業者	0.3%
	5 自由業（医学、法律、宗教、芸術、教育などの分野の自営者）	1.7%
常雇被用者	6 管理職（企業や官庁で課長以上、校長、消防署長、病院長など）	8.8%
	7 専門職（大学教授、教員、判事、病院勤めの医師など）	2.4%
	8 事務職（事務系会社員、公務員、営業社員、技術社員、看護師、保育士など）	18.2%
	9 労務職（工員、運転手、理・美容師、外勤の警察官など）	11.3%
派遣社員等	10 派遣社員、契約社員	3.3%
パート等	11 パート、アルバイト、臨時雇い等	5.2%
無 職	12 専業主婦、定年退職者等	34.3%
そ の 他	13 その他	3.3%

F 4－2（常雇被用者の方におうかがいします）

あなた（世帯主の方）は民間の会社にお勤めですか、それとも公務員ですか。（○はひとつ）

N：1620

1 民間の会社 84.1%	2 公 務 員 10.7%	3 その他（具体的に： ） 1.7%	不明 3.4%
---------------------	---------------------	--------------------------	------------

N：1363

付問 お勤め先の従業員の方の人数は、会社全体で何人ぐらいですか。（○はひとつ）				
1 1～99人 35.7%	2 100～299人 17.1%	3 300～999人 15.6%	4 1,000人以上 31.0%	不明 0.7%

F 5 配偶者の方のご職業をお知らせください。該当する箇所の番号に○をおつけください。

（○はひとつ）

N：3983

自 営 者	1 農林漁業の自営者・家族従業者	1.2%
	2 商工サービス業の自営者（法人組織の経営者）	0.5%
	3 商工サービス業の自営者（個人事業の経営者）	1.0%
	4 商工サービス業の家族従業者	2.0%
	5 自由業（医学、法律、宗教、芸術、教育などの分野の自営者）	0.7%
常雇被用者	6 管理職（企業や官庁で課長以上、校長、消防署長、病院長など）	0.6%
	7 専門職（大学教授、教員、判事、病院勤めの医師など）	1.1%
	8 事務職（事務系会社員、公務員、営業社員、技術社員、看護師、保育士など）	7.7%
	9 労務職（工員、運転手、理・美容師、外勤の警察官など）	1.3%
派遣社員等	10 派遣社員、契約社員	2.4%
パート等	11 パート、アルバイト、臨時雇い等	21.9%
無 職	12 専業主婦、定年退職者等	45.2%
そ の 他	13 その他	1.7%
	14 配偶者はいない	9.5%

不明 3.3%

F 6 あなた（世帯主の方）お一人の昨年の年収は、およそどれくらいですか。ボーナスや副収入を含めて税込でお知らせください。（○はひとつ）

N : 3983

1	200万円未満	16.3%	8	800万～ 900万円未満	3.3%
2	200万～300万円未満	21.1%	9	900万～1,000万円未満	2.2%
3	300万～400万円未満	15.4%	10	1,000万～1,200万円未満	2.4%
4	400万～500万円未満	9.8%	11	1,200万～1,500万円未満	1.5%
5	500万～600万円未満	8.9%	12	1,500万～2,000万円未満	0.5%
6	600万～700万円未満	6.2%	13	2,000万～3,000万円未満	0.2%
7	700万～800万円未満	5.2%	14	3,000万円以上	0.3%

不明 6.9%

F 7 配偶者の方お一人の昨年の年収は、およそどれくらいですか。ボーナスや副収入を含めて税込でお知らせください。（○はひとつ）

N : 3983

1	所得はない	22.0%	7	400万～500万円未満	2.1%
2	50万円未満	8.4%	8	500万～600万円未満	1.4%
3	50万～100万円未満	24.4%	9	600万～700万円未満	0.8%
4	100万～200万円未満	15.8%	10	700万～800万円未満	0.4%
5	200万～300万円未満	6.3%	11	800万円以上	0.5%
6	300万～400万円未満	3.3%		配偶者はいない	9.5%

不明 5.2%

F 8 ご家族の収入を全て合計すると、昨年1年間で、およそどれくらいになりますか。あなた（世帯主の方）ご自身の収入を含め、ボーナスや副収入なども含めて税込でお知らせください。（○はひとつ）

N : 3983

1	200万円未満	5.3%	8	800万～ 900万円未満	4.6%
2	200万～300万円未満	12.9%	9	900万～1,000万円未満	4.9%
3	300万～400万円未満	15.6%	10	1,000万～1,200万円未満	5.7%
4	400万～500万円未満	11.7%	11	1,200万～1,500万円未満	3.3%
5	500万～600万円未満	10.6%	12	1,500万～2,000万円未満	1.7%
6	600万～700万円未満	7.6%	13	2,000万～3,000万円未満	0.3%
7	700万～800万円未満	7.0%	14	3,000万円以上	0.4%

不明 8.3%

F 9 お宅のお住まいについてお知らせください。（○はひとつ）

N : 3983

1	持家・ローン有	24.6%
2	持家・ローン無	61.0%
3	社宅、官舎（借り上げ社宅や代用社宅を含む）	1.1%
4	賃貸住宅（間借りを含む）	11.3%

N : 3409

不明 2.0%

（F 9で「1」か「2」に○をつけられた方におうかがいします）

▶ 付問1 年間の住宅ローン負担額、管理費などの総額はいくらくらいですか。

年間 約

--	--	--	--

 万円 56.1万円

N : 494

（F 9で「3」か「4」に○をつけられた方におうかがいします）

▶ 付問2 年間の家賃や社宅等の自己負担の総額はいくらくらいですか。

年間 約

--	--	--	--

 万円 75.7万円

(保育・就学中のお子さんがいらっしゃるお宅におうかがいします)

F 10-1 お宅ではお子さんの教育費や習い事などの費用として、過去1年間にどの程度支出されましたか。お子さん全員の費用を合計してお答えください。

N : 1090

教育費関係の費用（年額） （入学金、授業料、幼稚園費・保育費、学習塾、給食費、通学費、修学旅行・遠足費、スポーツ・レクリエーション活動、習い事の月謝、制服費など）	年間 約				万円 84.1万円
	千万	百万	十万	万	

F 10-2 このような教育費などに対する経済的準備としてどのような対応や準備手段をお考えですか。(○はいくつでも)

N : 1090

1 月々の収入から	85.3%	7 有価証券(株式、公社債、金融債、投資信託など)	3.6%
2 預貯金、貸付信託、金銭信託	32.8%	8 教育ローンなどの借り入れ	4.4%
3 財形貯蓄	2.7%	9 親や親族などからの援助	9.5%
4 生命保険(こども保険、学資保険)	22.2%	10 奨学金など	8.1%
5 上記以外の生命保険・個人年金保険	1.6%	11 本人のアルバイト収入など	5.1%
6 損害保険(積立型)	0.1%	12 その他(具体的に：)	1.3%
			不明 5.3%

全員の方におうかがいします。

F 11 ご家族の預貯金や株式・公社債や保険などの金融資産を全て合計すると、どれくらいになりますか。およそで結構ですのでお知らせください。(○はひとつ)

(注1) 保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込掛金の総額としてください。

(注2) 株式は時価、公社債は額面金額としてください。

N : 3983

1	100万円未満	10.9%	6	1,500万～2,000万円未満	7.6%
2	100万～ 300万円未満	11.3%	7	2,000万～2,500万円未満	5.3%
3	300万～ 500万円未満	11.1%	8	2,500万～3,000万円未満	4.2%
4	500万～1,000万円未満	15.9%	9	3,000万円以上	11.6%
5	1,000万～1,500万円未満	10.9%			
					不明 11.3%